



## 国内ストレージシステム市場システムタイプ別予測を発表

**Japan, 2019年7月9日** - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、国内エンタープライズストレージシステム市場のシステムタイプ別予測を発表しました。

IDCではシステムタイプを「SoR ( Systems of Record )」「SoE ( Systems of Engagement )」「SoI ( Systems of Insight )」「システム基盤プラットフォーム」「機器 / 装置制御システム」の5つに分類しており、5つのセグメントのうち、「SoR」と、「SoE」および「SoI」を合算した「SoE/SoI」、および「システム基盤プラットフォーム」と「機器 / 装置制御システム」を合算した「Other」の3つのカテゴリについて、エンタープライズストレージシステム市場の予測値を提供しています。なお、システムタイプの詳細は注記をご参照ください。また、今回発表した国内エンタープライズストレージシステムのシステムタイプ別市場は、サーバー内蔵型ストレージなどサーバーとの間でダブルカウントが発生するストレージを除いた、外付型エンタープライズストレージシステムとODM DirectのStorage Expansion（増設装置）を対象としています。

今回のシステムタイプ別予測の対象となったエンタープライズストレージシステムの2018年の国内市場の支出額は前年比4.2%増の1,808億6,100万円でした。システムタイプ別の支出額を見ると、SoRが前年比1.6%減の869億8,500万円、SoE/SoIが同13.9%増の270億2,900万円、Otherが同8.9%増の668億4,800万円でした。また、今回の予測対象となった市場全体の支出額は2023年で1,779億1,900万円と予測され、2018年～2023年の5年間に於ける年間平均成長率（CAGR：Compound Average Growth Rate）はマイナス0.3%と予測しています。システムタイプ別の2023年の規模は、SoRが891億4,700万円とCAGRは0.5%、SoE/SoIが314億8,100万円と同3.1%、Otherが572億9,100万円とマイナス3.0%です。SoE/SoIについては比較的高い成長を続け、市場全体を下支えすると予測しています。

SoRは主にビジネストランザクションの記録に関わるシステム、SoEは顧客エンゲージメントを強化するためのシステム、SoIはデータの分析を通してインサイトを得るためのシステムです。国内エンタープライズストレージシステム市場では、SoRに比べて、SoE/SoIのクラウド化（パブリッククラウド、プライベートクラウド）が進む見込みです。これは、SoE/SoIでは、クラウドが持つ俊敏性、柔軟性、拡張性などの特徴がより強く求められるためです。IDCでは2023年における国内エンタープライズストレージシステムのクラウド比率は、SoR向けでは22.4%に留まりますが、SoE/SoI向けでは41.4%に達すると予測しています。特にSoE向けでは、俊敏性、柔軟性、拡張性に対す

る要求が高く、市場では外付型エンタープライズストレージシステムとx86サーバーをベースとしたSoftware-Defined Storage ( SDS )との競合が激しくなるとみています。また、SoI向けでは、アナリティクス処理を支援するため高パフォーマンス、低レイテンシー、広帯域といった特徴を持ったストレージインフラ ( NVMe over FabricなどのNVMe技術を採用したオールフラッシュアレイなど ) に対するニーズが高まると考えています。

IDC Japanのエンタープライズインフラストラクチャグループディレクターである**森山正秋**は「予測期間を通しSDSが国内外付型エンタープライズストレージシステムに与える影響は大きくなる。外付型エンタープライズストレージシステムにとっては成長機会が高いプライベートクラウドの分野でSDSと差別化し、ビジネス機会を獲得し続ける製品戦略と販売戦略が求められている」と分析しています。

今回の発表はIDCが発行した**国内エンタープライズストレージシステム市場 システムタイプ別予測、2019年～2023年**にその詳細が報告されています。本レポートでは、国内エンタープライズストレージシステム市場におけるシステムタイプ別、配備モデル別の2018年の実績と2019年～2023年の市場規模予測を提供しています。なお、本調査レポートは2018年第4四半期版の「IDC Quarterly Cloud IT Infrastructure Tracker」および2018年下半期版の「IDC Semiannual Enterprise Storage Systems: Workloads」に基づいています。

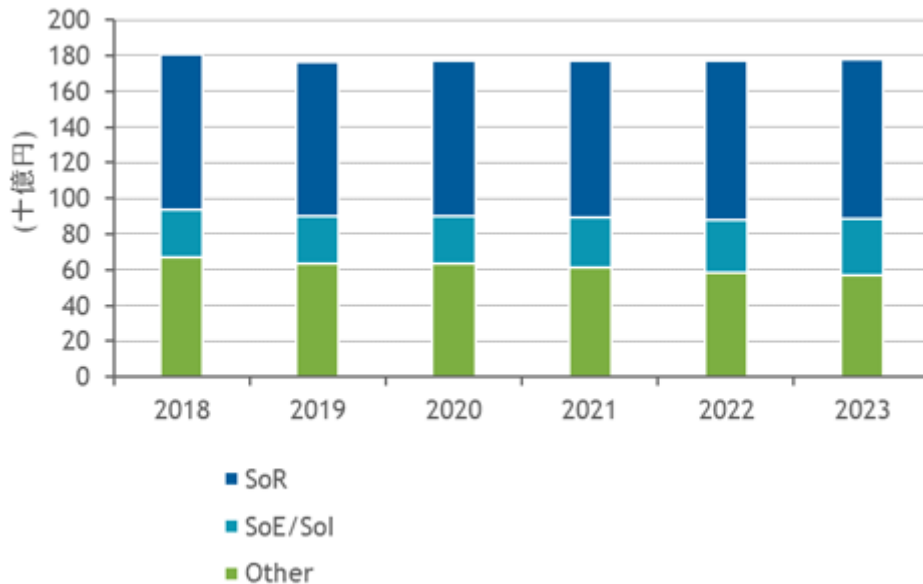
注記：システムタイプについて

- SoR ( Systems of Record ) : 法人や個人事業主の事業活動 ( 商取引 ) や公的機関における公的サービス提供活動の記録や処理を行うシステムである。
- SoE ( Systems of Engagement ) : エンゲージメントには外部エンゲージメントと内部エンゲージメントがある。外部エンゲージメントは主に顧客および取引先との関係性である。内部エンゲージメントは社員や従業員との関係性である。ここでは顧客エンゲージメントに関わるシステムのみをSoEとして扱う。
- SoI ( Systems of Insight ) : 収集したさまざまなデータの分析を通して、洞察 ( インサイト ) を得るためのシステムである。
- システム基盤プラットフォーム ( SIP : System Infrastructure Platform ) : システムを安全かつ安定的に連携して運用するためのシステムや、コミュニケーションや共通ファンクションを提供するためのシステムである。なお、科学技術計算やアプリケーション開発などの用途も本システムタイプに含める。
- 機器 / 装置制御システム ( A/DCS : Apparatus/Device Control Systems ) : 医療機器、キオスク端末、ビルファシリティ管理、自動倉庫システム、ファクトリーオートメーションにおける産業用ロボットや工作機械などの制御を主目的とするシステムである。

< 参考資料 >

## 国内エンタープライズストレージシステム市場 システムタイプ別支出額予測 2018年～2023年

Figure 1



Source: IDC Japan, 7/2019

### About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com).

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

**For more information contact:**

jp-Press Japan

jp-press@idcjapan.co.jp

+81-3-3556-4768